

高野新聞

Vol.58



たかの
高野 たけし

38歳

逗子市議会議員（三期）

- ・議会運営委員会（委員長）
- ・総務建設環境常任委員会
- ・基地対策特別委員会

高野たけしの活動報告

～住みやすいまちづくりに向けて～

◆ 逗子市長選挙 — 平井竜一市長が再選

12月5日告示、12日投開票で実施された逗子市長選挙の結果、現職の平井市長の再選が決まりました。

選挙期間中に多くの報道機関が低投票率になるのではないかと分析していた通り、今回の市長選挙は44.32%と過去二番目の低投票率になってしまいました。これは、新人候補の立候補表明が遅かったことも一つの要因になっているのかもしれませんが、それ以上に有権者の市政への関心が低くなってきているのではないかと懸念するところです。そのため、明確なビジョンを持った市政運営を行うことが、二期目をスタートする平井市長の使命であると思っています。また、私達市議会議員も同様に、予算配分や事業内容等をチェックするだけにとどまらず、市政の状況をしっかりと把握した上で、具体的な政策提案をしていく姿勢が求められていると感じています。

市民の皆様の思いをカタチに変えることができるよう、私もこれまで以上に提案型議員としての活動に邁進していきます。

市長選挙開票結果

【有権者数:49,755 投票総数:22,049 投票率:44.32% 無効票:204】

・平井竜一	14,396
・いちやなぎ康男	4,315
・松本はるこ	3,134

◆ 市長に対しては是々非々のスタンスで臨みます

今回の市長選挙において平井市長の続投が決まりましたが、私はこれまで同様に是々非々のスタンスで市長と政策議論を交わしていきます。

選挙戦を通じて、平井市長は財政問題とゴミ問題についても触れていましたが、現在逗子市が抱える諸課題の中にあって、この二つは特に喫緊の課題であると言えます。そこで、実現可能な計画の策定とその推進方法については、今後予定されている臨時議会の場を通じて質していきたいと考えています。

政治資金の残り あと 166,580円

(9/1～11/30 の内訳)

支出…広報板用プラダン(20枚) 5,980円

ポスター掲示用両面テープ(4本) 1,992円

※今後も政治資金のガラス張りは必ず続けていきます。

◆ 中学校給食導入に向けて(進捗報告)

【ボックスランチ方式を推薦】

逗子市立中学校給食実施検討委員会から導入に向けた検討結果の報告書が提出されました。

今年度の実施検討委員会は市民代表2名、PTA・保護者代表2名、中学校長代表1名、小学校長代表1名、市職員6名の計12名から組織され、今年8月から計5回の委員会を開催し様々なケースを協議検討してきました。結果、「保護者からの早急な導入要望、市の財政状況、そして学校現場の負担や時間割への影響等を総合的に考慮し、実現可能性が高い方式として、ボックスランチ方式※1を推薦する。」という結論に至ったとのことです。

【早ければ平成25年度中に開始】

教育委員会は平成20年度から3年にわたり調査・検討をしてきましたが、今回の報告を受け、今後ボックスランチ方式の導入に向けた給食システムの検討や施設整備を進めていく予定としています。

今後の予定としては、平成23年度中に中学校給食担当の栄養士を配置し、ボックスランチ方式の詳細な仕様について検討を開始。平成24年度以降、各中学校の配膳室等の整備、プロポーザル方式※2による給食調理業者の選定、予約システム及び給食費徴収システムの検討などの準備を進め、早ければ平成25年度中からの開始を目指していくとのことです。また、給食費1食あたりの単価は300円～400円程度を見込み、お弁当との選択制を取り入れるとのことです。

※1…ボックスランチ方式とは？

デリバリータイプの給食。委託業者の調理場で作られ、保温機能を持った配膳用ケースに入れて各学校に配送されている。県内では、相模原市、海老名市、愛川町で同方式を採用。

※2…プロポーザル方式とは？

公募等により複数の業者から中学校給食導入・運営についての企画を提案してもらい、その中から企画・提案内容の優れたものを選択する。単に安価な金額を提示した業者が落札する競争入札方式とは異なる。

視察報告

私の所属する総務建設常任委員会において、先進事業を視察するため愛媛県今治市、大洲市、東温市に行ってまいりました。今治市ではエネルギー政策を、大洲市では景観計画を、東温市では環境政策について、それぞれ視察してきたところですが、本欄では特に逗子市が参考とすべきモデルとして東温市の取組みについてご報告させていただきます。

東温市の「エコ・キッズ支援事業」

東温市では環境政策の一環として、市独自に「環(わ)のまちづくりプロジェクト」を作成し推進しています。中でも、未来のエコ市民への人材育成と、エコ・キッズを取り巻く大人達の環境意識の高揚を目的とした環境教育の分野には、特に力を入れています。

平成14年度からスタートしたエコ・キッズ支援事業では、子ども達が夏休みを利用して自宅で環境マネジメントの手法をゲーム感覚で学習する「Kids' ISO14000プログラム」の他、環境学習に関する発表を行う「エコ・キッズ・フェスティバル」を毎年開催するなど、工夫を凝らした施策を実施しています。

東温市で実施している事業においては非常に完成度の高いものであり、逗子市の環境教育にも活用できるものと考えています。

「Kids' ISO14000プログラム」の教材



あなたの声を高野たけしへ

- お名前:
- ご住所: 〒
- 連絡先
 - E-mail:
 - お電話:



民主党逗子市議団 高野 たけし
Tel / Fax: 046-871-7368
E-mail: takano_zushi@yahoo.co.jp

◆ JR逗子駅東駐輪場がリニューアル

10月1日から整備工事が始まり一時利用できなくなっていたJR逗子駅東駐輪場ですが、12月1日から利用できるようになりました。

リニューアルされた駐輪場は、自転車323台、小型バイク(125cc以下)67台、大型バイク(125cc超)12台の合計402台が駐車可能となっています。自転車置き場は二段式となっていますが、実際に試してみたところ上段部分への駐輪も楽にできましたので、女性の方でも出し入れが可能だと思います。

当該駐輪場においては利用者からの整備要望も多く、私も様々な場面で行政当局に対応を求めてきたことから、今回のリニューアルを大変喜ばしく思っています。しかしながら市営駐輪施設全体の運営構造を見た場合、市民優遇策の拡大や改修等のための基金設置など、まだまだ課題は残っていると言えます。そのため、こうした課題解決に向けては担当所管とも協力をしながら、引き続き対応していきたいと考えています。

リニューアル後のJR逗子駅東駐輪場

